

丹頂の飼育を行っているきびじつるの里に
人工ふ化で待望のヒナが2羽誕生しました
飼育員は丹頂の姿をしてヒナを懸命に育てています
丹頂が暮らすのびやかな心地よい環境は
私たち人間にとっても大切なものです
丹頂とのふれあいから何か学べるかもしれません

丹頂の成長を願って

◎特集 きびじつるの里

今から10年前、吉備路のシンボル、備中国分寺五重塔の上空で国の特別天然記念物・丹頂が優雅な舞いを披露しました。

丹頂は、皇塚池（上林）から一斉に飛び立ち、一列横隊になって備中国分寺付近まで編隊飛行。五重塔周辺を背景に数分間、丹頂の美しいシルエットが映えました。この美しい画をカメラに収めようと、同寺周辺には、ズームレンズや三脚を手にしたカメラマンなどが大勢詰め掛けました。後にこの写真を目にしたある外国人は、あまりの美しさに「ここは日本のどこですか」と驚いていたそうです。

この珍しい光景は、丹頂の繁殖に取り組んでいる岡山県自然保護センター（佐伯町）が吉備路郷土館（上林）周辺で行った野外調査の一場面です。調査では、丹頂に皇塚池を中心に自由に行動させ、えさの取り方、人との接し方など自然への適応能力が観察されました。ここ吉備路が調査場所となったのは、飛行に支障のある電線が少なく、水辺や草地、県有田があったことなどからです。